

未来に輝く 彦根の星



ハンドボールの魅力は、スピード感のある試合展開です。

※2025年に、中学3～高校3年生となる年代の主力となる子どもたちから指定し、重点的に強化を図る取組みです。



▲シュートの様子

なぎなた 彦根翔西館高等学校1年生 樋田 千咲 選手

Q. なぎなたを始めたきっかけは？

A. なぎなたの体験入部で先輩のかっこいい姿をみて、なぎなた部に入部しました。

高校入学までは、なぎなたという競技自体知りませんでした。

Q. 今はどんな雰囲気練習していますか？

A. 3年生が引退し、初心者の1年生4人だけになってしまい、お手本にする人がいなくて困っています。

滋賀県は競技人口が少なく、いきなり近畿大会や全国大会などの大きな大会に出場することもあって、精神的にも身体的にもしんどいです。

でも、仲はずごく深まって、何でも言い合えるので、楽しみながら頑張っています。

Q. 彦根市で開催される「わた SHIGA 輝く国スポ」に向けての思いはありますか？

A. 2025年に3年生となるため、周りから「主役の代」と言われることが多く、プレッシャーもあって、正直怖い気持ちがあります。でも、高校生最後の大会になるので、国スポに出場して、優勝することを目指して今後も頑張っていきたいと思います。

そのためにもなぎなた部にもっと部員が入ってきてほしいです！



▲演技競技の様子

ハンドボール

鳥居本中学校3年生 杉江 拓己 選手

Q. ハンドボールを始めたきっかけは？

A. 小学生のときに兄が行っていたクラブチームの見学に行き、楽しそうにプレーしていた姿を見たのがきっかけです。

別の学区から、ハンドボールをするために鳥居本中学校に通っています！

Q. 全国大会も経験されていますが、印象に残っている試合はありますか？

A. 今までで一番面白かった試合は中学1年生で出場した夏の全中2回戦目です。相手が全国大会での優勝経験のあるチームで、結果は負けでしたが、最初開いていた点差をどんどん詰めることができました。また、滋賀県勢初の夏の全中出場となったのも思い出に残る理由の一つです。

Q. 直近の大会はどうでしたか？

A. 夏の県大会は1回戦で負けてしまいました。大会前、上手いかわないことが続き、部活をやめたいと思ったこともありましたが、でも、周りの人に話を聞いてもらい、気合で乗り越え、試合では力を出し切れました！ そのおかげもあってか、県の選抜に選ばれ、12月23日から開催される第32回U-15ジュニアセレクトカップハンドボール大会に出場することになりました。

Q. 彦根市で開催される「わた SHIGA 輝く国スポ」に向けての思いはありますか？

A. 地元開催なので選手として必ず試合に出て、1試合でも多く勝ちます。2年後がすごく楽しみです。彦根のハンドボールを背負っていきます！

国スポ・障スポ総務課職員が！

障スポ競技体験してみた

ビーンバッグ投

ビーンバッグを投げ、その距離を競う競技

これがビーンバッグ



中には大豆などが入っています



手で投げてもOK



足で蹴りあげてもOK

投げ方は自由です

ジャベリックスロー

ターボジャブを投げ、その距離を競う競技



これがターボジャブ

重さは300gです



難しい！



穂先に向かって真っすぐ投げないと空気抵抗を受けて減速します。

企業協賛を募集しています！

両大会を応援して下さる企業・団体の皆さんから物品（のぼり旗、看板など）の提供により協賛を募集します。



▲詳しくはこちら



社会貢献
イメージアップ
知名度の向上



大会PRのために

ノベルティグッズなど

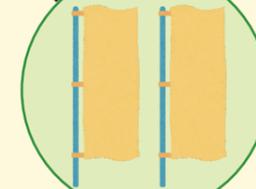
協賛物品の例

おもてなしのために



休憩用の飲料など

歓迎装飾のために



のぼり旗、横断幕など

提供いただいた物品は、広報活動、開催準備、運営などに活用します。

ボランティアを募集しています！

国スポ・障スポに興味や関心のある皆さんの応募をお待ちしています。みんなで大会を盛り上げていきましょう！



▲詳しくはこちら



詳しくは各種SNS、ホームページをご確認ください



▲ X (旧 Twitter)



▲ Instagram



▲ ホームページ